



上：バンテアイミエンチェイ州 FM96.5。タイ国境を広くカバーしている。

右：8・9 月度バンテアイミエンチャイラジオ局ゲストDJ ソム・オルさん
NGO CWARS で理髪師目指して技術を学んでいる。



第10回 (バタンバン: 8月11日, バンテアイミエンチャイ 8月5日)

バンテアイミエンチェイの放送では今回より CWARS の理容コースで学んでいるソム・オルさんにゲスト DJ として出演していただく。今回は初めての経験で緊張されていたが、満足できる内容の1時間だった。

朗読された手紙より1通

私の大切な家族へ

お父さん、お母さん、元気になっていますか？しばらくそちらには帰っていませんが、心配しなくても大丈夫です。僕は元気にやっています。おばあちゃんの具合はどうでしょうか？今は職業訓練校の CWARS で勉強していますが、みなさんのことを考えない日はありません。すぐにでも会いたいです。技術を習得したら会いましょう。それまで元気でいてくださいね。

バンテアイミエンチャイ州 チャーム・セン

朗読された詩より 1 篇

作者：プノンペン市 ヴァン・ディー

僕の生まれはプノンペン
今は治療のためにバタンバンにいる
パーム椰子の木から落ちて
僕の脊柱は壊れてしまった
それ以来僕は障害者
はじめは不運な人生に落胆したよ
でも気付いたんだ
体に障害はある
でも心に障害はないんだ
この頭がある限り
僕は仕事を見つけるために挑戦しつづける
もちろん障害者の僕には
様々な困難が立ちをはかる
それでも決してめげないと決めたんだ

僕には大切な家族がいる
僕を支えてくれる家族がいる
日が上がって沈むまでずっと付き添ってくれる
だから僕はひとりぼっちじゃない
それだけでとっても幸せなんだ
きっとこの痛みはもう治らないだろう
でも家族がいるから頑張れる
この施設には僕のような患者が多い
だからみんなと頑張れるんだ
退院してプノンペンに帰ったら
また一人ぼっちだろう
一人で痛みに耐えなきゃいけないのかな
今はそれだけが心配なんだ

インタビュー

バタンバン (FM103.25MHz) : CWARS (Cambodian War Amputees Rehabilitation Society)

■活動内容

CWARSはカナダと香港の支援で運営されている障害者の皆さんのための職業訓練校です。職業訓練は、農業コース（6ヶ月間）自転車修理コース（3ヶ月間）、バイク修理コース（6ヶ月間）、縫製コース（6ヶ月間）、TV修理コース（1年間）、理容コース（5ヶ月間）があります。CWARSは他NGOや行政と協力体制をとっており、各村の村長とも連絡をとったりしています。それにより、各村の障害者の情報を汲み取り、職業訓練を習得したい障害者の皆さんにその機会を提供しています。それぞれのコースの開講前には登録の受付をしています。障害者の方は自主的に学生登録を行なうこともできます。施設には寮があり、生活費は一切無料です。また、卒業後のサポート（開店用の道具の提供、商売のアドバイス）も行なっていますので、金銭面での心配はいりません。



バンテアイミエンチェイ州に位置する CWARS

■リスナーへのメッセージ

障害者の皆さん、職業技術を身につけたい方はいつでも CWARS に来てください。あなたの今後の人生をスタッフがアドバイスしますし、訓練校での生活についても説明します。障害者で働くのをあきらめかけている皆さん、ぜひ CWARS で技術を習得し、自立してください。頑張りましょう。

バンテアイミエンチェイ (FM96.5MHz) :

8・9月度バンテアイミエンチェイ放送局ゲストDJ ソム・オルさん (23 歳, 地雷被害者) (生インタビュー)

僕はソム・オルといいます。今は職業訓練校の CWARS で生活していますが、出身地はコンポントム州です。現在の家はパイリンです。穀物をつくっていたからです。2003 年、森に入って木を刈っているときに地雷を踏み、右足を失いました。とてもショックでした。自殺を考えたことも何度もあります。EMERGENCY に運ばれたのですが、他のベッドには僕と同じように足を失った地雷被害者が多くいました。同じ悩みを抱えているのは僕だけではないのだと知り、頑張っ生きていこうと決心しました。治療を終えた後はパイリンに戻りましたが、2007 年にコンポントムに戻ってすごしていました。ある時、家族と共にシェムリアップに旅行に出かけたとき、CWARS で職業訓練を受けた私の友人に会い、CWARS について多くのことを知りました。すぐに入学を決心しました。現在は5ヶ月間の理容コースで学んでいます。



ソム・オルさん(写真中央)

障害者の皆さん、困難に挑戦していきましょう！輝きに満ちた人生を創っていきましょう！わたしのように、NGO で職業訓練をうければ仕事だってきっと見つかります。僕は理容師になって自分の店を開きます。そして CWARS で勉強しているみんな、頑張ってください。これからも集中して技術を習得しましょう。せつかく与えられたチャンスなんだから、最大限に努力して少しでも高い技術を身につけましょう！

第11回 (バタンバン:8月18日, バンテアイミエンチャイ8月12日)

朗読された手紙より1通

妻と娘へ

義足を作って歩行訓練するためにバタンバンの義足義手センターICRCに来ているけど、君たちにはしばらく会っていないね。元気でやってるかな？パパは元気に毎日過ごしているから心配ご無用。孫のクダムは元気？パパは君たちと会えないのが本当に寂しい。特にもう何も言うべきことはないけど、君たちの幸せを心から願ってる。あ、私の娘と孫に一言。ちゃんと勉強しなさいよ！

バンテアイミエンチャイ州 トン・サイ

朗読された詩より1篇

題名：障害者は孤独 作者：テイ・ヴィ バタンバン州

幼い頃は平和に暮らしていたものだ
温かい家庭がそこにはあった
時がたち、内戦が勃発した
命の重さなどこれぼっちもなかった
私はその時クメール兵
国のために骨身を削り命までも捧げる覚悟だった
勝利のために敵を追い詰めることだけを考えた

勝利のために私の人生は私のもではなくなった
そう、足を失うまでは
そして障害者になるまでは
差別 無関心
私はそんなものに怯えながら孤独と闘ってきた
現在わたしは地雷撤去員
職の機会を与えてくれたMAGに感謝

インタビュー

イェーン・レーンさん（42歳，地雷被害者）

1998年に地雷により片足を失いました。森に入っていたときに事故にあったのです。当時私は穀物を栽培していました。私は2005年の10月に職業訓練校CWARSに入校し5ヶ月間理容師コースで勉強しました。現在は卒業し、自分の理髪店をかまえています。また、穀物の栽培も続けています。理髪店にはお客がたくさん来る日もありますが、全く来ない日もあるので生活の足しにしているのです。私から障害を抱えた皆さんへメッセージをおくります。私たちは障害者ですが、それは体だけです。心は違う。障害者をサポートする団体は、求めさえすれば見つけることができるはずです。頑張っ、障害のない人たちと同じような、いやそれ以上の職につきましよう。



チャン・ボウンさん（44歳，地雷被害者）



バットンバン州の国境沿いにソンポールンという地区がありますが、1990年に兵としてそこで戦闘をしていたときに地雷を踏みました。すぐに当時の第81軍病院に運ばれ手当を受けました。失ったのは右足です。退院後もまた軍に戻って戦闘に参加していましたが、一年ほど経ってやめました。それからは農業で生計をたてています。具体的には、ソンポールン地区で豆やとうもろこし、その他穀物をつくっています。障害者の皆さん、逆境にめげないで頑張りましょう。自分の人生について真剣に考えてみてください。目先のことだけでなく、長い目です。そうしたときに、仕事は絶対条件です。NGOの協力などで頑張っ、自分の能力を高め、仕事を見つめましよう。障害

者は何もできないなんて考えるのはやめにましよう。私は障害者でも、何でもできると思います。努力次第じゃないでしょうか。それと、リスナーの皆さん、障害者を差別するのはやめてください。障害者の中には頑張っ、仕事に励み、社会に貢献している人がたくさんいるのです。それをしっかり見てください。

第12回 (バットバン:8月25日, バンテアイミエンチャイ8月19日)

今回の放送でバットバンのゲスト DJ、地雷撤去員のボウ・チャムさんの出演は最後となった。地雷や不発弾の危険性を繰り返し番組で呼びかけてくださったボウ・チャムさん。これからも慎重な作業で地雷撤去作業を頑張ってください。

朗読された手紙より1通

ソンバット兄さんへ

兄さんが障害者になったとき以来、何の音沙汰もありませんが、あれから元気になっていますか？兄さんの家族はみんな元気ですか？みんな元気なら僕は嬉しいです。今も僕は地雷撤去の仕事をしていますが、次の長期休暇にでも会いに行きます。最後に皆さんの健康と幸運を祈って。

バットバン州 ティ・ヴィ

朗読された詩より1篇

題名：障害を持つ仲間へ 作者：バットバン州 ソク・ロスメイパチャマー

障害をもって生まれた人
事故で障害者になった人
彼らの人生は試練の連続だろう
身体の障害で動くこと自体に苦労し
世間の冷たい目に精神的にもくたびれる
耳が聴こえない人 目が見えない人
腕がない人 足をひきずる人
多くの障害者が悲しみを抱えている
私はそう思う
でもどうか
自分に自信を持って！
体の障害は嘆いても仕方ない
あなたのアイデンティティは失われてないはず

何があっても頑張って！
自分を決して蔑まないで！
あなたにはあなたにしかできないことがある！
ほがらかに笑ってよう！
自然と明るい未来がやってくるはず
自分の道を頑張って切りひらいて
これが私からのメッセージ
いつも私の頭にあった強い思い
私は嬉しい
やっとこの思いが表現できたのだから
あなたの成功
あなたの幸福
それを願っています

インタビュー

ICRC (International Committee of the Red Cross)

※第1回放送内容と同じ